飛鳥時代

名前

問1　聖徳太子の死後、中国では隋に代わって唐が統一王朝を築きました。唐が朝鮮半島北部の高句麗を攻撃するなど東アジアの緊張が高まるなか、日本でもその影響を受けて、天皇を中心とする国づくりを目指す政治改革が始まりました。この改革の名称として正しいものを答えなさい。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 大化の改新
2. 明治維新
3. 寛政の改革
4. 建武の新政

問2　飛鳥時代から現代までの日本の歴史を時系列で並べた際、聖徳太子が「十七条の憲法」を制定した時期よりも「後」の出来事であり、かつ奈良時代に行われた事柄として正しいものはどれですか。（2024年 静岡県公立入試 類似）

1. 日本で最初の女性天皇として、推古天皇が即位し政治の基盤を整えたこと
2. 自分で新しく切り開いた土地を永久に自分のものにすることを認める「墾田永年私財法」の施行
3. バブル経済が崩壊し、長期にわたる景気の後退が始まったこと
4. 安土桃山時代を象徴する、豪華な装飾が施された城郭が各地に築かれたこと

問3　飛鳥時代、中国や朝鮮半島から大陸の文化や制度が伝えられる中で導入された「冠位十二階」について、その目的を説明したものとして最も適切なものはどれか。（2022年 宮城県公立入試 類似）

1. 家柄にとらわれず、有能な人材を役人として採用するため
2. 特定の有力な豪族だけに、代々高い位を保証するため
3. 地方の土地や人民を、すべて天皇が直接支配するため
4. 仏教の教えを広めることで、国を平和に導くため

問4　663年の白村江の戦いにおいて、倭（日本）は百済の復興を支援しましたが、唐・新羅の連合軍に大敗を喫しました。この敗北を受け、大宰府周辺の守りを固めるために佐賀県に築かれた「基肄城（きいじょう）」などの山城には、どのような背景や目的がありましたか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）

1. 唐や新羅による日本本土への侵攻という国家的危機に備え、九州の政治・外交の拠点である大宰府を防衛する目的。
2. 朝鮮半島への再出兵を計画するための軍事訓練施設として、大陸に近い九州北部の山岳地帯に兵力を集結させる目的。
3. 仏教による国家の鎮護を目的として、大宰府を望む山の上に広大な寺院や仏塔を建設し、外敵を退散させる祈祷を行う目的。
4. 租・庸・調などの重い税負担に苦しんだ農民たちの反乱を鎮圧し、大宰府の役人が地方を監視する拠点とする目的。

問5　飛鳥時代の文化の特徴を記した資料において、その特色は「国際色豊かである」と説明されます。このように評される理由として、当時の寺院建築や仏像に見られる具体的な特徴を述べたものとして正しいものはどれですか。（2024年 和歌山県公立入試 類似）

1. 遣唐使が廃止されたことで、それまで伝わっていた大陸の文化が日本の風土に合わせて消化され、独自の「かな文字」などが生まれたため。
2. 禅宗の影響を受けた武士たちが、中国の宋や元の文化を取り入れ、水墨画や茶の湯などの簡素な美意識を確立したため。
3. 遣唐使によって唐の最新の文化が都である平城京に直接もたらされ、国際的な正倉院宝物などが数多く作られたため。
4. 中国の南北朝時代の様式だけでなく、インドや西アジア、さらには古代ギリシャに起源を持つ建築様式の影響が、寺院の柱などに見られるため。

問6　飛鳥時代、大宝律令の制定によって確立された土地制度において、6歳以上の男女に与えられた土地の名称と、その土地の取り扱いについて述べた文として正しいものはどれか。（2020年 広島県公立入試 類似）

1. 口分田と呼ばれ、子孫へ代々受け継ぎ、売買することも認められていた。
2. 地券が発行された土地であり、所有者が地価に応じた税を納めることとされていた。
3. 名田と呼ばれ、収穫の一部を地主に納めることで耕作が認められていた。
4. 口分田と呼ばれ、与えられた者が亡くなった後は国に返還することとされていた。

問7　4世紀から7世紀にかけての朝鮮半島において、北部の高句麗や南東部の新羅と対抗しながら、大和政権と緊密な関係を築いた南西部の国はどこですか。（2018年 岐阜県公立入試 類似）

1. 高句麗
2. 百済
3. 唐
4. 新羅

問8　飛鳥時代から奈良時代にかけての歴史的な出来事をまとめた記録において、日本は遣隋使や遣唐使といった使節を繰り返し中国へ派遣していました。このような使節が派遣された主な目的として最も適切な説明はどれですか。（2020年 静岡県公立入試 類似）

1. 中国の軍事的な援助を受けて、朝鮮半島の諸国を武力で制圧するため
2. 中国の皇帝から日本の王としての地位を認めてもらい、朝貢貿易を独占するため
3. 中国の優れた統治システムや文化を学び、日本国内の政治体制を整えるため
4. キリスト教や鉄砲といったヨーロッパの新しい技術を中国経由で導入するため

問9　飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）は中国の進んだ制度や文化を学ぶため、小野妹子らを中国へ派遣しました。当時、約300年ぶりに中国全土を統一していたこの王朝の名称として正しいものを選びなさい。（2023年 静岡県公立入試 類似）

1. 宋
2. 唐
3. 明
4. 隋

問10　7世紀後半から8世紀にかけて、日本が中国の隋や唐の国家体制を手本として編纂し、それに基づいて政治を行った基本的な法典の総称は何ですか。（2023年 京都府公立入試 類似）

1. 分国法
2. 御成敗式目
3. 律令
4. 公事

問11　大化の改新から平安京遷都までの約150年間における社会の動きについて述べた文として、正しいものはどれか。（2019年 香川県公立入試 類似）

1. 蘇我氏が大きな権力を持ち、政治の主導権を握り続けた。
2. 小野妹子が遣隋使として中国に渡り、大陸の進んだ制度を積極的に取り入れた。
3. 聖徳太子が摂政となり、十七条の憲法を定めて役人の心得を示した。
4. 律令の制定や東大寺の大仏建立など、天皇を中心とした国づくりが進められた。

問12　7世紀初めに聖徳太子（厩戸皇子）によって現在の奈良県に建立された、世界最古の木造建築物として知られる寺院を次の中から選びなさい。（2024年 三重県公立入試 類似）

1. 法隆寺
2. 中尊寺
3. 東大寺
4. 延暦寺

問13　645年、中大兄皇子や中臣鎌足らが蘇我氏をたおしたことをきっかけに始まった政治改革では、どのような国家体制を目指したか。最も適切なものを選びなさい。（2019年 香川県公立入試 類似）

1. 有力な豪族による合議制に基づいた政治
2. 天皇を中心とした中央集権的な国づくり
3. 外国の王をトップに据えた国際的な統治
4. 武士が政治の実権を握る封建的な仕組み

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大化の改新	中国で唐が成立し、朝鮮半島の高句麗を攻撃したことで、東アジア全体の国際情勢は非常に不安定になりました。日本はこの危機を乗り越えるため、豪族が権力を握る古い政治体制を改め、土地と人民を国家のものとする公地公民や、天皇を中心とした中央集権的な仕組みを作ることを決断しました。これが645年から始まる大化の改新であり、唐などの対外勢力に対抗するための国家改革という側面を持っていました。
問2	答え 2 自分で新しく切り開いた土地を永久に自分のものにすることを認める「墾田永年私財法」の施行	十七条の憲法は7世紀初頭の飛鳥時代に制定されました。これに対し、墾田永年私財法は8世紀（743年）の奈良時代に制定された法令であり、時代順として後に位置します。推古天皇の即位は憲法制定の前提となる出来事であり、城郭の建築やバブル崩壊はそれよりもさらに数百年から千年以上後の出来事です。当時の社会状況の変化を時代区分ごとに理解することが重要です。
問3	答え 1 家柄にとらわれず、有能な人材を役人として採用するため	当時の日本は、大陸の進んだ文化を取り入れながら、天皇を中心とする国づくりを急いでいました。そのためには、世襲によって地位が決まる古い氏姓制度から脱却し、能力のある人物を政治の担い手として確保する必要がありました。この制度の背景には、同時期の食文化と同様に、大陸との活発な交流が影響しています。
問4	答え 1 唐や新羅による日本本土への侵攻という国家的危機に備え、九州の政治・外交の拠点である大宰府を防衛する目的。	白村江の戦いで唐・新羅連合軍に敗れた倭（日本）は、強大な勢力が海を越えて攻めてくることを非常に恐れました。そのため、天智天皇（中大兄皇子）は九州北部の防衛を急ぎ、大宰府の北側に水城（みずき）という堤防を築き、周辺の山々には大野城や基肄城（きいじょう）といった朝鮮式山城を築かせました。これは、対外的な緊張感が高まったことで、国内の政治体制をより一層中央集権化（律令国家への移行）させる大きな動機の一つとなりました。
問5	答え 4 中国の南北朝時代の様式だけでなく、インドや西アジア、さらには古代ギリシャに起源を持つ建築様式の影響が、寺院の柱などに見られるため。	飛鳥文化は、朝鮮半島や中国の南北朝時代の文化を直接の源流としていますが、その背景にはシルクロードを通じた東西交流があります。例えば法隆寺金堂の柱に見られる中央が膨らんだ「エンタシス」という技法は、古代ギリシャのパルテノン神殿などにも見られるものであり、当時の日本が遠く西方の文化圏とも間接的に繋がっていたことを示しています。
問6	答え 4 口分田と呼ばれ、与えられた者が亡くなった後は国に返還することとされていた。	大宝律令に基づく班田収授法では、戸籍に基づいて6歳以上の男女に「口分田」が与えられました。この土地は売買が禁止されており、本人が死亡した際には国に返還する決まりとなっていました。これによって国家が土地と人民を直接支配する「公地公民」の仕組みが維持されました。
問7	答え 2 百済	朝鮮半島の南西部に位置した百済は、北から圧力を強める高句麗や、隣接する新羅との勢力争いの中で、日本の大和政権と結びつきました。この交流を通じて、日本へ仏教や儒教といった当時の先進的な大陸文化が伝わりました。
問8	答え 3 中国の優れた統治システムや文化を学び、日本国内の政治体制を整えるため	当時の日本は、大陸の先進的な文明を取り入れることで中央集権国家を確立しようとしていました。小野妹子などの使節とともに多くの留学生や学問僧が中国へ渡り、律令制度や仏教、芸術などを学ぶことで、大化の改新や平城京の建設といった国づくりに大きく貢献しました。
問9	答え 4 隋	6世紀末に中国を再統一した隋に対し、日本は「遣隋使」を派遣しました。小野妹子は607年に派遣された代表的な人物です。この時期の日本は、推古天皇の摂政であった聖徳太子らを中心に、大陸の優れた政治制度や仏教文化を取り入れることで、天皇中心の国づくりを進めようとしていました。
問10	答え 3 律令	刑罰を定めた「律」と、政治の仕組みや行政上の規定を定めた「令」からなる法体系です。中国の高度な統治システムを導入することで、天皇を中心とした組織的な国家運営（律令国家）を目指しました。中世に定められた「分国法」や江戸時代の「公事方御定書」などとは、成立時期や性格が異なります。
問11	答え 4 律令の制定や東大寺の大仏建立など、天皇を中心とした国づくりが進められた。	大化の改新で蘇我氏が倒された後、日本は本格的な法治国家を目指して701年に大宝律令を制定しました。また、752年には聖武天皇の発願により東大寺の大仏が完成するなど、仏教の力を借りて国を安定させようとする天皇中心の政治が展開されました。聖徳太子の活動や遣隋使、蘇我氏の全盛期はいずれも大化の改新以前のことです。
問12	答え 1 法隆寺	聖徳太子が建立したこの寺院は、現存する世界最古の木造建築群であり、当時の仏教文化の高さを示しています。これに対し、東大寺は8世紀に聖武天皇が、中尊寺は12世紀に藤原清衡が、延暦寺は9世紀初めに最澄がそれぞれ建立したものです。
問13	答え 2 天皇を中心とした中央集権的な国づくり	蘇我氏を打倒した後に始まった大化の改新は、それまで有力豪族が持っていた権力を集約し、天皇を中心とした新しい国づくりを目指すものでした。この改革により、土地や人民を国家が直接支配する「公地公民」などの制度が整えられていきました。

飛鳥時代

名前

問1　7世紀前半の東アジアでは、中国を統一した唐が、朝鮮半島の北部に位置する国を攻撃するなど、軍事的な緊張が高まっていました。このような国際情勢の変化は、日本において強力な中央集権国家を目指す大化の改新が起こる大きな要因となりました。このとき、唐の攻撃を受けた朝鮮半島北部の国名を答えなさい。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 百済
2. 高句麗
3. 渤海
4. 新羅

問2　645年に起こった政治改革において、中臣鎌足（藤原鎌足）らとともに、権勢を振るっていた蘇我氏を倒し、後に天智天皇として即位した人物は誰ですか。（2023年 沖縄県公立入試 類似）

1. 足利尊氏
2. 中大兄皇子
3. 聖徳太子
4. 大海人皇子

問3　飛鳥時代において、朝鮮半島から伝来した新しい宗教である仏教を積極的に受け入れ、聖徳太子（厩戸王）と協力して政治改革を推進した有力豪族を答えなさい。（2022年 岩手県公立入試 類似）

1. 藤原氏
2. 北条氏
3. 平氏
4. 蘇我氏

問4　飛鳥時代、天智天皇の死後にその後継をめぐって起きた大規模な内乱である「壬申の乱」について、その結果と歴史的影響を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 静岡県公立入試 類似）

1. 平氏との戦いに勝利した源頼朝が征夷大将軍に任命され、武家政権による統治が本格化した。
2. 聖徳太子が推古天皇の摂政となり、冠位十二階や十七条の憲法を定めて天皇の権威を高めた。
3. 中大兄皇子が蘇我氏を打倒し、公地公民を基本とする政治改革である大化の改新が始まるきっかけとなった。
4. 勝利した大海人皇子が天武天皇として即位し、天皇中心の強力な中央集権国家体制を築く基盤となった。

問5　6世紀半ば、朝鮮半島南西部に位置していた国から、日本へ釈迦如来像や経典が贈られたことで、仏教が公式に伝えられました。このとき、日本へ仏教を伝えた国の名称として正しいものを選びなさい。（2023年 三重県公立入試 類似）

1. 渤海
2. 百済
3. 高句麗
4. 新羅

問6　603年から607年ごろの飛鳥時代において、国内の政治体制を整えるために行われた政策と、同時期の対外政策の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 家柄にとらわれず才能のある人物を役人に登用する冠位十二階を定め、小野妹子を遣隋使として派遣した。
2. 土地と人民を国家が管理する公地公民を確立し、隋の皇帝から日本の王としての地位を認める金印を授かった。
3. 仏教を弾圧しようとする勢力を抑えるために大仏を造立し、朝鮮半島へ軍隊を派遣して白村江の戦いに臨んだ。
4. 役人の心得を示す十七条の憲法を制定し、中臣鎌足とともに唐の文化を取り入れるための遣唐使を派遣した。

問7　白村江の戦いでの敗北を受け、九州北部には水城や大野城といった防衛施設が次々と建設されました。これらの施設や海岸線の警備にあたるため、主に東国などの遠方から徴用され、九州へ派遣された兵士を何と呼びますか。（2022年 神奈川県公立入試 類似）

1. 健児
2. 御家人
3. 防人
4. 武士

問8　かつての都であった藤原京の跡地からは、多くの木簡が発見されています。その中には、現在の長野県にあたる地域から特産物が都まで運ばれたことを記したものがあり、地方まで中央の支配が及んでいたことが分かります。このような統治体制を確立させる契機となった出来事として、最も適切なものはどれですか。（2020年 愛知県公立入試 類似）

1. 東大寺に大仏が造立されたことで、仏教の力によって地方の反乱を鎮める仕組みができた。
2. 墾田永年私財法が出されたことで、地方の有力者が独自に土地を開発し、都に献上する流れが加速した。
3. 冠位十二階の制度が整えられ、家柄にこだわらず才能のある人物を地方の役人に登用した。
4. 大宝律令が制定され、全国を国・郡・里に分けて役人を派遣する律令国家の体制が整った。

問9　663年の白村江の戦いにおいて、唐・新羅の連合軍に大敗した倭（日本）の政権が、大陸からの侵攻に備えて九州や瀬戸内沿岸で実施した防衛策として最も適切なものを選びなさい。（2024年 大分県公立入試 類似）

1. 博多湾の沿岸に石築地（元寇防塁）を築き、武士を動員した
2. 東北地方に多賀城を築き、蝦夷の反乱に備えて鎮守府を置いた
3. 大宰府の北側に水城を築き、各地の要所に朝鮮式山城を造った
4. 大陸との交流を断絶するため、遣唐使の派遣を完全に停止した

問10　7世紀後半、日本は唐や新羅による侵攻の脅威に備え、九州の大宰府周辺に「水城（みずき）」と呼ばれる大規模な土塁や、山城（朝鮮式山城）を築きました。これらの防御施設の築城にあたって、高度な土木技術を伝え、建設を指導した渡来人たちは、どこの国から来た人々が中心であったとされていますか。（2021年 滋賀県公立入試 類似）

1. 百済
2. 新羅
3. 高麗
4. 渤海

問11　7世紀初め、聖徳太子が中国の隋に小野妹子らを派遣した外交政策の目的と、その内容を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 栃木県公立入試 類似）

1. 隋の皇帝から日本国王としての称号を得ることで、朝鮮半島での軍事的な優位性を確立するため。
2. 蘇我氏が大陸との貿易を独占し、天皇を凌ぐ経済力を背景に権力を掌握するための私的な使節とするため
3. 中国と対等な立場での外交を目指し、大陸の進んだ制度や文化を取り入れて天皇中心の国づくりに役立てるため。
4. 日本が中国の属国であることを認め、毎年の朝貢を約束することで日本国内の反乱を抑えるため。

問12　8世紀の初め、現在の群馬県にあたる地域に建てられた「多胡碑」には、朝廷の命令によって新たな郡が設置されたことが記されています。このように、唐の制度にならって定められた法律に基づき、地方の行政区画を整備することで形成された、天皇を中心とする中央集権的な国家の仕組みを何といいますか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 律令国家
2. 封建国家
3. 守護・地頭制
4. 幕藩体制

問13　当時の有力な豪族の家系図において、蘇我稲目の子であり、推古天皇や聖徳太子とも深い血縁関係を持つ人物が行った政治的行動として、最も適切なものはどれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 武士団を組織して平氏を打倒し、征夷大将軍となって幕府を開いた。
2. 遣隋使の派遣を停止し、日本独自の国風文化を育てることに専念した。
3. 仏教の採用に反対する勢力を退け、大陸の新しい文化や制度を取り入れて国家の近代化を図った。
4. 検地や刀狩を行い、兵農分離を進めることで社会の安定を目指した。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 高句麗	聖徳太子の死後、隋に代わって中国を統一した唐は、領土拡大のために朝鮮半島北部の高句麗へ繰り返し遠征を行いました。この強大な帝国の出現と軍事的圧力は、当時の日本にとって大きな脅威となり、国内の結束を固めて天皇中心の強力な国家体制を整える必要性を認識させました。こうした背景から、中大兄皇子らによって大化の改新が断行されることとなりました。
問2	答え 2 中大兄皇子	唐（中国）の制度に習い、天皇を中心とする中央集権国家の確立を目指して行われた改革が大化の改新です。中大兄皇子は蘇我入鹿らを排除することで、有力豪族による政治から、天皇が直接統治する仕組みへと転換を図りました。
問3	答え 4 蘇我氏	古墳時代末期から飛鳥時代にかけて勢力を伸ばした蘇我氏は、渡来人と結びついて大陸の新しい文化や仏教を積極的に取り入れました。蘇我馬子は聖徳太子と協力し、冠位十二階や十七条の憲法の制定、遣隋使の派遣など、天皇中心の国づくりに尽力しました。
問4	答え 4 勝利した大海人皇子が天武天皇として即位し、天皇中心の強力な中央集権国家体制を築く基盤となった。	壬申の乱は672年に発生した、古代日本における最大の内乱です。天智天皇の弟である大海人皇子が、天皇の息子である大友皇子を破って勝利しました。この乱の後、大海人皇子は天武天皇として即位し、それまでの有力豪族との合議制ではなく、天皇が絶対的な権力を握る専制的な統治を確立しました。これが後の律令国家の完成へと繋がっていきます。
問5	答え 2 百済	6世紀半ば（538年または552年とされる）に、百済の聖明王から日本の欽明天皇へ仏像や経典が献上されたことが、日本への仏教公伝の始まりです。百済は当時、大陸の文化を日本に伝える重要な窓口となっていました。他の選択肢のうち、高句麗は半島北部、新羅は半島東部に位置していた国であり、渤海はのちに中国東北部で興った国です。
問6	答え 1 家柄にとらわれず才能のある人物を役人に登用する冠位十二階を定め、小野妹子を遣隋使として派遣した。	聖徳太子は国内では603年に冠位十二階を定めて氏姓制度にとらわれない人材登用を行い、翌604年には十七条の憲法を制定して役人の道徳を示しました。これら国内の改革と並行して、607年には小野妹子を遣隋使として派遣し、対外的な地位の向上を図りました。中臣鎌足や白村江の戦いは後の天智天皇（中大兄皇子）の時代であり、金印は1世紀の「漢委奴国王」のものです。
問7	答え 3 防人	唐や新羅の侵攻に備えるため、当時の政府は全国から兵士を徴用しましたが、特に九州北部の警備には「防人（さきもり）」が配置されました。彼らの多くは東国の農民から選ばれ、住み慣れた故郷を離れて厳しい任務に就きました。その苦しみや家族への思いを詠んだ歌は『万葉集』に「防人歌」として数多く収められています。
問8	答え 4 大宝律令が制定され、全国を国・郡・里に分けて役人を派遣する律令国家の体制が整った。	藤原京は、大宝律令の制定前後における日本の首都であり、律令に基づいた計画的な都市造りが行われました。出土した木簡は、租・調・庸といった税制度を通じて、中央政府の権力が地方の隅々まで及んでいたことを示す実証的な資料となっています。
問9	答え 3 大宰府の北側に水城を築き、各地の要所に朝鮮式山城を造った	白村江の戦いで大敗を喫した倭の政権は、唐・新羅の連合軍が日本列島へ攻めてくることを恐れ、急ピッチで国防を整えました。中大兄皇子（天智天皇）は、亡命してきた百済の貴族の指導のもと、対馬や北九州から瀬戸内沿岸にかけて山城（朝鮮式山城）を築かせ、さらに九州の政治拠点である大宰府を守るために大規模な土塁と堀を持つ「水城（みずき）」を建設しました。また、防人（さきもり）を配置して沿岸の警備を強化しました。
問10	答え 1 百済	663年の白村江の戦いで日本（倭）と百済の連合軍が唐・新羅の連合軍に敗北した後、日本は大陸からの報復的な侵攻を恐れて国防を強化しました。この際、日本に亡命してきた百済の人々が持つ高度な技術が、水城や大野城といった堅固な防御施設の築城に活用されました。
問11	答え 3 中国と対等な立場での外交を目指し、大陸の進んだ制度や文化を取り入れて天皇中心の国づくりに役立てるため。	聖徳太子は、当時の進んだ法制度や仏教文化を学ぶことで、日本を天皇を中心とした中央集権国家にする狙いがありました。小野妹子が持参した国書には「日出づるところの天子、書を日没するところの天子に致す…」と記されており、これまでの朝貢外交とは異なる対等な外交を求めたことが特徴です。蘇我馬子は聖徳太子と協力して政治を行っていましたが、遣隋使は私的な使節ではなく国家の事業です。
問12	答え 1 律令国家	7世紀後半から8世紀にかけて、日本は中国（唐）の高度な統治システムを取り入れ、刑罰を定めた「律」と、政治の仕組みを定めた「令」を整備しました。これにより、全国を国・郡・里といった行政区画に分け、中央から役人を派遣して土地と人民を直接支配する中央集権体制が確立されました。多胡碑はこの仕組みが地方まで浸透していたことを示す資料です。
問13	答え 3 仏教の採用に反対する勢力を退け、大陸の新しい文化や制度を取り入れて国家の近代化を図った。	蘇我馬子は蘇我稲目の息子であり、自らの娘を天皇に嫁がせるなどして天皇家の外戚として強い権力を握りました。彼は仏教を積極的に受け入れることで、大陸の高度な技術を持つ渡来人と結びつき、古い慣習に縛られない新しい国家体制を目指しました。この過程で仏教反対派の物部氏と激しく対立しました。

飛鳥時代

名前

問1　607年に派遣された使節において、当時の中国の皇帝に「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す…」で始まる国書を届けたとされる、代表的な人物は誰か選択してください。（2017年 大分県公立入試 類似）

1. 中臣鎌足
2. 阿倍仲麻呂
3. 鑑真
4. 小野妹子

問2　663年に朝鮮半島の西南部の海域で発生した「白村江の戦い」とその後の日本の動向について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 和歌山県公立入試 類似）

1. 女真族の侵入をきっかけに、朝廷は遣唐使の派遣を完全に停止した
2. この戦いに勝利したことで、日本は朝鮮半島南部での影響力を強めた
3. 元の軍勢を暴風雨の助けを借りて退け、これを機に武士の力が強まった
4. 唐・新羅の連合軍に敗れた後、唐の侵攻に備えて防人や烽（とぶひ）を配置した

問3　7世紀中ごろ、唐が朝鮮半島北部の高句麗を攻撃したことにより、東アジアでは国際的な緊張が極限まで高まりました。このような外部からの脅威に対抗するため、日本（倭）において天皇中心の中央集権国家体制を整えようとして行われた一連の政治改革はどれですか。（2020年 徳島県公立入試 類似）

1. 明治維新
2. 大化の改新
3. 公事方御定書の制定
4. 十七条の憲法の制定

問4　7世紀後半、日本（倭国）は朝鮮半島への出兵で大敗したことをきっかけに、急速に国家体制の整備を急ぐこととなりました。この時期の歴史的な流れについて説明した文として、正しいものはどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）

1. 壬申の乱で勝利した持統天皇が、百済を救援するために白村江の戦いを引き起こし、その戦費をまかなうために藤原京から平城京へ遷都した。
2. 白村江の戦いでの敗戦後、国内の守りを固める必要が生じ、のちに壬申の乱を経て実権を握った天武天皇らが藤原京の造営や律令の整備を進めた。
3. 藤原京を造営した後に白村江の戦いが起き、その混乱に乗じて壬申の乱という後継者争いが発生した。
4. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に勝利したことで、日本は朝鮮半島での影響力を強め、その記念として藤原京を造営した。

問5　推古天皇の摂政として、才能や功績に応じて位を与える冠位十二階の制度や、役人の心構えを示す十七条の憲法を定めた人物は誰か。（2018年 北海道公立入試 類似）

1. 聖徳太子
2. 天智天皇
3. 中臣鎌足
4. 天武天皇

問6　壬申の乱に勝利して即位し、律令に基づく天皇中心の国づくりを強力に進めた人物は誰ですか。（2024年 岩手県公立入試 類似）

1. 桓武天皇
2. 推古天皇
3. 聖武天皇
4. 天武天皇

問7　十七条の憲法の第一条には「和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗（むね）とせよ」とあり、また第三条には「天皇の命令を受けたならば、必ずつつしんで従いなさい」という趣旨の内容が記されています。このように、この法が道徳的な教えを通じて役人の心得を説いた主な目的は何ですか。（2015年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 土地や人民はすべて国家のものであるという「公地公民」の原則を、民衆に徹底させるため。
2. 有力な豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を整えるため。
3. 仏教を国の宗教として強制し、大きな寺院を建立するための労働力を確保するため。
4. 唐や新羅などの外国からの侵略に備えるため、武士の団結を強めて軍事力を高めるため。

問8　奈良県に位置し、聖徳太子によって建立されたと伝えられる寺院で、現存する世界最古の木造建築物として知られる名称を次の中から選びなさい。（2015年 長崎県公立入試 類似）

1. 薬師寺
2. 法隆寺
3. 唐招提寺
4. 東大寺

問9　聖徳太子が定めた規範の中で、仏教を篤く敬うこと（三宝を敬うこと）と、天皇の命令への絶対服従を並べて記した政治的な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 秋田県公立入試 類似）

1. 仏教を深く信仰していた蘇我氏の独走を抑えるために、天皇の命令が宗教的な教えよりも優先されることを示すため
2. 律令に基づいた厳しい刑罰を導入する前に、仏教の教えによって人々の心を安定させ、犯罪を減らすため
3. 仏教を日本の国教として定めることで、大陸の隋や唐と同じような宗教国家を作り、外国からの侵略を防ぐため
4. 仏教による道徳心と天皇への忠誠心を結びつけることで、豪族たちの対立を抑え、天皇を中心とした国づくりを進めるため

問10　663年に朝鮮半島で行われた「白村江の戦い」において、日本（倭）が唐・新羅の連合軍に敗れた後の出来事として、歴史的背景に合致する説明はどれですか。（2017年 沖縄県公立入試 類似）

1. 大陸の影響を拒絶するため、遣唐使の派遣を完全に停止し、国風文化を育てる政策に転換した
2. 敗戦の責任を問い、中大兄皇子が政治の表舞台から退き、大王による豪族連合政治が復活した
3. 天皇中心の政治を諦め、有力豪族である蘇我氏に全ての政治権力を委ねる体制を整えた
4. 唐や新羅の侵攻に備えて、九州に水城を築き、防人という兵士を配置して国防を強化した

問11　聖徳太子が定めた十七条の憲法の第一条には、「和をもって貴しとなす」という言葉が記されています。この言葉をあえて第一条に掲げ、役人の心得として強調した当時の政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 沖縄県公立入試 類似）

1. 外国の思想を排除し、日本独自の伝統的な神道を国家の柱とするため
2. 身分制度を厳格にし、農民が領主に対して反抗することを防ぐため
3. 有力な豪族同士の対立を抑え、天皇を中心とした国家体制を構築しようとしたため
4. 武士が土地を巡って争うことを禁止し、幕府による全国支配を確実にするため

問12　663年の白村江の戦いでの敗戦後、唐や新羅の侵攻に備えて、飛鳥時代に九州の防衛拠点であった地域を守るために築かれた遺跡として最も適切なものはどれですか。（2022年 宮崎県公立入試 類似）

1. 東大寺南大門
2. 平等院鳳凰堂
3. 大野城跡と水城跡
4. 日光東照宮

問13　7世紀の朝鮮半島では、唐と新羅が結んで周辺諸国へ勢力を拡大していました。この際、唐・新羅の連合軍によって滅ぼされた国を復興させるため、倭（日本）が救援軍を派遣した国はどこですか。（2017年 静岡県公立入試 類似）

1. 伽耶（加羅）
2. 新羅
3. 高句麗
4. 百済

問14　7世紀後半、天智天皇の死後にその跡継ぎをめぐって大海人皇子と大友皇子が争った、古代最大といわれる内乱はどれですか。（2026年 三重県公立入試 類似）

1. 保元の乱
2. 壬生の乱
3. 壬申の乱
4. 平治の乱

答え合わせ・解説

問1	答え 4 小野妹子	聖徳太子は小野妹子を遣隋使として派遣し、中国（隋）の皇帝である煬帝に国書を渡した。この国書の内容は、これまでの中国王朝への従属的な立場ではなく、対等な立場での外交を求めたものであり、当時の日本の自立意識の現れとされている。
問2	答え 4 唐・新羅の連合軍に敗れた後、唐の侵攻に備えて防人や烽（とぶひ）を配置した	白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北した日本は、大陸からの報復を強く警戒しました。そのため、九州の防衛のために防人を置き、急を知らせるための烽（のろし）のネットワークを整備しました。また、天智天皇は都を内陸の近江大津宮へ移すなど、国家の防衛と中央集権化を加速させました。選択肢にある元の侵攻（元寇）や女真族の侵入（刀伊の入寇）は、いずれも白村江の戦いよりも後の時代の出来事です。
問3	答え 2 大化の改新	唐が高句麗に侵攻し、朝鮮半島情勢が不安定になったことは、日本にとって国防上の大きな脅威となりました。この危機を乗り越えるため、中大兄皇子と中臣鎌足らは蘇我氏を打倒し、天皇を頂点とした強力な国家体制を築く「大化の改新」を断行しました。十七条の憲法はそれ以前の推古天皇の時代に制定されたものです。
問4	答え 2 白村江の戦いでの敗戦後、国内の守りを固める必要が生じ、のちに壬申の乱を経て実権を握った天武天皇らが藤原京の造営や律令の整備を進めた。	663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した倭国は、大陸からの侵攻に備えて防衛を強化するとともに、強力な中央集権国家を形成する必要に迫られました。その後、672年に起きた壬申の乱に勝利した天武天皇、およびその跡を継いだ持統天皇によって、日本初の本格的な都城である藤原京の造営が行われ、律令国家の仕組みが整えられていきました。
問5	答え 1 聖徳太子	推古天皇の協力者として、天皇中心の国づくりを進めたのは聖徳太子である。中臣鎌足は中大兄皇子とともに大化の改新を行い、天武天皇は壬申の乱の後に即位して律令国家の建設を進めた人物であるため誤り。
問6	答え 4 天武天皇	大海人皇子は壬申の乱で勝利を収めた後、天武天皇として即位しました。天武天皇は、律令の編纂に着手したり、それまでの「大王」に代わって「天皇」の称号を本格的に使用し始めたりするなど、強力な指導力を発揮して国家の基盤を固めました。
問7	答え 2 有力な豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を整えるため。	当時の日本は、有力な豪族がそれぞれ勢力を持ち、互いに争うことも少なくありませんでした。聖徳太子は、国家を一つの組織としてまとめるために、役人が守るべき道徳規範を示す必要があると考えました。豪族たちが「和」を重んじて対立を避け、最高権威である天皇に従うという秩序を作ることで、天皇を頂点とする組織的な統治（中央集権化）を推し進めようとしたのがこの法の背景です。
問8	答え 2 法隆寺	飛鳥時代を代表するこの寺院は、斑鳩の地に聖徳太子（厩戸王）によって建てられました。金堂や五重塔などの西院伽藍は、幾度かの再建を経ているものの、世界最古の木造建築群として1993年には日本で初めてユネスコの世界文化遺産に登録されました。
問9	答え 4 仏教による道徳心と天皇への忠誠心を結びつけることで、豪族たちの対立を抑え、天皇を中心とした国づくりを進めるため	当時の日本は豪族同士の勢力争いが激しく、国家としてのまとまりに欠けていました。聖徳太子は、仏教という普遍的な教えを敬うことで個人の道徳観を養わせると同時に、天皇を国全体の最高権威として位置づけることで、私利私欲に走る豪族たちを統制し、天皇中心の中央集権体制の基礎を築こうとしました。
問10	答え 4 唐や新羅の侵攻に備えて、九州に水城を築き、防人という兵士を配置して国防を強化した	白村江の戦いでの敗北は日本にとって大きな危機であり、中大兄皇子（後の天智天皇）は九州の大宰府周辺に防御用の堤防である水城や朝鮮式山城を築きました。この国防の必要性が、国家の権限を中央に集中させる律令制整備の大きな要因となりました。
問11	答え 3 有力な豪族同士の対立を抑え、天皇を中心とした国家体制を構築しようとしたため	古墳時代から飛鳥時代にかけては、蘇我氏と物部氏の対立に代表されるように、有力な豪族が勢力争いを繰り返していました。聖徳太子は、官僚としての道徳規範を示すことで豪族たちをまとめ上げ、天皇の命令に従う官僚機構を作り上げることを目的としていました。
問12	答え 3 大野城跡と水城跡	白村江の戦いでの敗戦後、唐や新羅からの侵攻に備えて大宰府を防衛するために作られたのが大野城跡や水城跡です。これらは飛鳥時代に整備されました。なお、平等院鳳凰堂は平安時代、東大寺南大門は奈良時代創建・鎌倉時代再建、日光東照宮は江戸時代に造営された建造物となります。
問13	答え 4 百済	飛鳥時代、朝鮮半島では新羅が唐と結んで勢力を強め、660年に百済を滅ぼしました。日本（倭）は古くから交流のあった百済の遺民から救援を求められ、中大兄皇子らの指揮のもと、百済復興のために大軍を送りました。しかし、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗し、百済復興の計画は失敗に終わりました。
問14	答え 3 壬申の乱	天智天皇が亡くなった後、その弟である大海人皇子と、子である大友皇子の間で後継者争いが起こりました。これが672年の壬申の乱です。勝利した大海人皇子は天武天皇として即位し、中央集権化をさらに推し進めることとなりました。

飛鳥時代

名前

問1　7世紀後半に起こった「壬申の乱」の経緯とその結果について述べた文として、正しいものはどれか。名称や関係性に注目して選びなさい。
（2024年 高知県公立入試 類似）

1. 桓武天皇が新しい政治を行うため、都を平城京から平安京へと移した。
2. 聖徳太子が推古天皇の摂政となり、憲法十七条や冠位十二階を制定した。
3. 天智天皇の弟である大海人皇子が、天智天皇の子である大友皇子を破って即位した。
4. 中臣鎌足が中大兄皇子と協力して蘇我氏を倒し、大化の改新を開始した。

問2　飛鳥時代の出来事をまとめた年表において、遣隋使の派遣と同時期の国内体制の整備として位置づけられる法があります。聖徳太子（厩戸王）が役人の心得を示すために制定し、天皇を中心とした国づくりの基礎となったものを何といいますか。（2020年 大分県公立入試 類似）

1. 十七条の憲法
2. 五箇条の御誓文
3. 御成敗式目
4. 大宝律令

問3　7世紀前半、聖徳太子（厩戸王）らが中心となって推進した、日本で最初の本格的な仏教文化を何というか。（2018年 大分県公立入試 類似）

1. 飛鳥文化
2. 弘仁・貞観文化
3. 天平文化
4. 国風文化

問4　聖徳太子が定めた冠位十二階について、この制度が目指した内容を説明したものとして正しいものを選びなさい。（2022年 高知県公立入試 類似）

1. 全ての国民を戸籍に登録し、口分田を割り当てるための基準とした。
2. 個人の能力や功績に応じて、色の異なる冠を授けて役人の位を区別した。
3. 地方の豪族を「国司」として任命し、土地と人民を直接支配させた。
4. 一度授けられた位は子孫に受け継がれることを原則とした。

問5　日本の歴史における主な出来事を時系列順に整理したとき、7世紀中頃に中大兄皇子らが中心となって進めた、天皇中心の国づくりを目指す一連の政治改革にあたるものはどれか。（2022年 青森県公立入試 類似）

1. 大化の改新
2. 聖徳太子の政治
3. 桓武天皇の平安京遷都
4. 聖武天皇の仏教政策

問6　天武天皇から持統天皇の時期にかけて進められた、天皇中心の政治体制を整えるための具体的な記述として最も適切なものはどれですか。
（2022年 福岡県公立入試 類似）

1. 飛鳥浄御原令の編纂や、日本という国号、天皇という称号の使用を定めた。
2. 平安京へ遷都を行い、新しい仏教勢力と結びついて律令政治の立て直しを図った。
3. 仏教の力で国家を守るため、全国に国分寺や国分尼寺を建立することを命じた。
4. 冠位十二階を定めて家柄にとらわれず才能のある人物を登用し、憲法十七条を作成した。

問7　かつての都であった藤原京の跡地からは、多くの木簡が発見されています。その中には、現在の長野県にあたる地域から特産物が都まで運ばれたことを記したものがあり、地方まで中央の支配が及んでいたことが分かります。このような統治体制を確立させる契機となった出来事として、最も適切なものはどれですか。（2020年 愛知県公立入試 類似）

1. 東大寺に大仏が造立されたことで、仏教の力によって地方の反乱を鎮める仕組みができた。
2. 墾田永年私財法が出されたことで、地方の有力者が独自に土地を開発し、都に献上する流れが加速した。
3. 大宝律令が制定され、全国を国・郡・里に分けて役人を派遣する律令国家の体制が整った。
4. 冠位十二階の制度が整えられ、家柄にこだわらず才能のある人物を地方の役人に登用した。

問8　645年に起こった政治改革において、中臣鎌足（藤原鎌足）らとともに、権勢を振るっていた蘇我氏を倒し、後に天智天皇として即位した人物は誰ですか。（2023年 沖縄県公立入試 類似）

1. 中大兄皇子
2. 聖徳太子
3. 大海人皇子
4. 足利尊氏

問9　飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）によって制定された「憲法十七条」の主な目的として、当時の政治状況から考えて最も適切な説明はどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）

1. 役人が政治を行う上での道徳的な心がまえを示し、天皇を中心とする国家体制を整えるため
2. 地方の豪族が所有する土地と人民をすべて天皇に返還させ、公地公民制を確立するため
3. 僧侶に対して厳しい修行を義務付け、仏教の教義を統一して寺院を管理するため
4. 民衆に対して重い税を課すための根拠を示し、国の財政を安定させるため

問10　7世紀半ば、朝鮮半島では新羅が唐と結んで勢力を広げ、百済を滅ぼしました。これを受けて、当時の日本（倭国）がとった行動とその結果として正しいものはどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）

1. 元（モンゴル帝国）の侵攻を阻止するために朝鮮半島へ出兵したが、文永の役で大敗を喫した。
2. 百済の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。
3. 唐と結んで朝鮮半島での権益を確保しようとしたが、白村江の戦いで新羅の軍勢に敗北した。
4. 高句麗の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。

問11　7世紀前半、聖徳太子（厩戸王）が推古天皇を助けて政治を行っていた時期に、中国大陸や朝鮮半島の強い影響を受けて成立した、日本最古の仏教文化を何と呼びますか。（2019年 滋賀県公立入試 類似）

1. 飛鳥文化
2. 白鳳文化
3. 国風文化
4. 天平文化

問12　飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）が推古天皇の摂政として政治を行っていた時期に定められた「冠位十二階」の制度について、その目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2019年 長崎県公立入試 類似）

1. 戸籍を作成して人々に土地を割り当て、税の徴収を確実にするため
2. 家柄にとらわれず、能力や功績のある人物を役人に登用するため
3. 有力な豪族に対し、代々特定の役職に就く特権を認めるため
4. 仏教の教えを政治の基本とし、国全体の道徳を高めるため

問13　天智天皇が白村江の戦いでの敗北後に進めた、国家体制を整えるための改革において、670年に作成された日本初の全国的な戸籍の名称として正しいものを選びなさい。（2026年 埼玉県公立入試 類似）

1. 庚午年籍
2. 班田収授法
3. 庚寅年籍
4. 大宝律令

問14　7世紀の日本は、聖徳太子の政治や大化の改新（645年～）など、国家の仕組みが大きく変化した飛鳥時代にあたります。この時期に天皇を中心とする中央集権国家の建設が急がれた背景として、最も適切な説明を選びなさい。（2020年 神奈川県公立入試 類似）

1. 地方の武士が力を持ち始めたため、その反乱を抑えるための軍事力を整備したかったから
2. キリスト教の伝来による文化的な混乱を鎮め、仏教を中心とした国づくりを目指したから
3. 唐や新羅といった強大な外国の脅威に対抗するため、国内の統治体制を固める必要があったから
4. ヨーロッパ諸国との貿易を円滑に進めるために、港の整備と度量衡の統一が必要だったから

答え合わせ・解説

問1	答え 3 天智天皇の弟である大海人皇子が、天智天皇の子である大友皇子を破って即位した。	天智天皇の死後、後継者をめぐって弟の大海人皇子と子の大友皇子の間で武力衝突が起こりました。これが壬申の乱です。勝利した大海人皇子は天武天皇となり、地方の豪族を従えて中央集権化を強めました。選択肢にある大化の改新や、聖徳太子の政策、平安京への遷都は、それぞれ異なる時期や人物による出来事です。
問2	答え 1 十七条の憲法	聖徳太子（厩戸王）は604年にこの法を定めました。これは現代の憲法とは異なり、役人（官吏）が守るべき道徳や政治の心得を説いたものです。第一条の「和をもって貴しとなす」という言葉が有名であり、豪族たちの争いを鎮め、天皇に従う体制を整える目的がありました。
問3	答え 1 飛鳥文化	百済などの渡来人を通じて伝えられた仏教を基盤とし、法隆寺に代表される寺院建築や仏像制作が盛んになった時期の文化を指す。これは日本における仏教文化の原点であり、大陸や朝鮮半島の技術が色濃く反映されている。
問4	答え 2 個人の能力や功績に応じて、色の異なる冠を授けて役人の位を区別した。	冠位十二階は、役人に色のついた冠を与えることで、その序列を明確にした制度です。これは世襲制であった氏姓制度とは異なり、個人の功績を評価する仕組みであり、翌年に定められた「十七条の憲法」とともに、役人の規律を正し、中央集権体制を整える役割を果たしました。
問5	答え 1 大化の改新	645年に中大兄皇子（後の天智天皇）と中臣鎌足らが蘇我氏を倒した乙巳の変に始まり、唐の制度を取り入れて進められた一連の改革を指します。豪族が土地や人民を私有するそれまでの体制を改め、天皇を中心とする中央集権国家の建設を目指しました。
問6	答え 1 飛鳥浄御原令の編纂や、日本という国号、天皇という称号の使用を定めた。	壬申の乱の勝利後、天武天皇は独自の年号を定め、法体系である律令の整備（飛鳥浄御原令）に着手しました。また、中国に対して独立した立場を示す「日本」という国号や、統治者の称号としての「天皇」を本格的に使い始めたのもこの時期とされています。他の選択肢はそれぞれ聖武天皇、桓武天皇、聖徳太子の事績です。
問7	答え 3 大宝律令が制定され、全国を国・郡・里に分けて役人を派遣する律令国家の体制が整った。	藤原京は、大宝律令の制定前後における日本の首都であり、律令に基づいた計画的な都市造りが行われました。出土した木簡は、租・調・庸といった税制度を通じて、中央政府の権力が地方の隅々まで及んでいたことを示す実証的な資料となっています。
問8	答え 1 中大兄皇子	唐（中国）の制度に習い、天皇を中心とする中央集権国家の確立を目指して行われた改革が大化の改新です。中大兄皇子は蘇我入鹿らを排除することで、有力豪族による政治から、天皇が直接統治する仕組みへと転換を図りました。
問9	答え 1 役人が政治を行う上での道徳的な心がまえを示し、天皇を中心とする国家体制を整えるため	聖徳太子は、豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権国家を築くことを目指しました。そのため、憲法十七条は一般の民衆に向けた法律ではなく、国に仕える役人（官吏）に対し、和の精神や仏教の尊重、そして天皇の命令への服従といった政治的な道徳を説いたものです。
問10	答え 2 百済の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。	当時の朝鮮半島では、唐と新羅が連合して百済や高句麗を圧迫していました。660年に百済が滅亡すると、日本は古くから交流のあった百済の再興を助けるために朝鮮半島へ出兵しました。しかし、663年に錦江の河口付近（白村江）で行われた戦いにおいて、唐・新羅の連合軍に圧倒的な軍事力の差で敗れました。これにより、日本は朝鮮半島における拠点を完全に失うこととなりました。
問11	答え 1 飛鳥文化	聖徳太子が活躍した時期の文化は飛鳥文化と呼ばれます。大陸から伝わった仏教を国の政治に取り入れ、法隆寺などの寺院が建立されたことが特徴です。白鳳文化は7世紀後半、天平文化は8世紀（聖武天皇の時代）、国風文化は平安時代中期（藤原氏の全盛期）の文化であり、それぞれ特徴が異なります。
問12	答え 2 家柄にとらわれず、能力や功績のある人物を役人に登用するため	それまでの日本の政治では、特定の氏族が代々決まった役職を引き継ぐ「氏姓制度」が中心でしたが、聖徳太子は個人の実力を重視するこの制度を導入しました。これにより、天皇に従順で有能な人材を役人として集め、天皇中心の国づくりを進める狙いがありました。選択肢にある土地の割り当ては、後の「班田収授法」の内容です。
問13	答え 1 庚午年籍	天智天皇は、唐や新羅の連合軍が百済を滅ぼし、その後の白村江の戦いで日本軍を破ったことを受け、日本国内の統治を急ぎ強化しました。その具体的な施策として作成されたのが「庚午年籍」です。これにより、それまで氏姓制度によって豪族が支配していた人民を、国家が直接把握する仕組みが作られ始めました。選択肢にある「庚寅年籍」は持統天皇の時代に作成されたものであり、区別が必要です。
問14	答え 3 唐や新羅といった強大な外国の脅威に対抗するため、国内の統治体制を固める必要があったから	7世紀の日本は、大陸での唐の建国や、朝鮮半島での緊迫した情勢に直面していました。特に白村江の戦いでの敗北は大きな危機感をもたらし、いつ海外から侵攻されてもおかしくない状況下で、一刻も早く天皇に権力を集中させ、律令制度に基づく強固な国家体制（中央集権体制）を築くことが急務となりました。

飛鳥時代

名前

問1　飛鳥時代、聖徳太子が仏教を政治に取り入れた影響を受け、各地の有力な一族が競って寺院を建立しました。このような寺院建立の主な目的や当時の状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 島根県公立入試 類似）

1. 聖武天皇が仏教の力によって国家の災いを取り除こうと考え、全国に一律の規格で建立した。
2. 豪族が自らの経済力や政治的な権威を周囲に示すため、一族の氏寺として建立した。
3. 武士が戦乱の世を逃れ、極楽往生を願って山奥に阿弥陀堂を建立した。
4. 地方を治める国司が、天皇の代替わりのたびに新しい行政拠点として建立した。

問2　聖徳太子が小野妹子を中国の隋に派遣した際、隋の皇帝に宛てた国書の中に「日出づるところの天子、書を日没するところの天子に致す、恙なきや」という一節がありました。このような表現を用いて使節を派遣した聖徳太子の意図として、最も適切な説明を選んでください。（2022年 和歌山県公立入試 類似）

1. 当時の中国の圧倒的な武力を背景に、日本の統治権を委ねる意思を示すため
2. 隋の皇帝の臣下として認めてもらい、朝鮮半島での軍事的優位を確保するため
3. 中国を上位とする従来の形式ではなく、対等な立場での国交を樹立しようとするため
4. 隋で流行していた新しい仏教の経典を、日本へ無償で提供してもらうため

問3　645年に始まった政治改革の資料において、中大兄皇子や中臣鎌足が蘇我氏を打倒し、新たな政治体制を築こうとする記述が見られます。この一連の改革によって日本で初めて元号が導入された背景として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 熊本県公立入試 類似）

1. 中国の唐に対して完全な服従を誓い、唐と同じ元号を使用することで安全保障を得るため。
2. 蘇我氏が代々使用してきた独自の暦を廃止し、仏教の教えに基づいた新しい時間管理を行うため。
3. 有力な豪族たちが交代で元号を決める権利を持つことで、貴族政治の安定を図るため。
4. 天皇が国の主権者として時間を支配することを示し、中央集権国家の威信を内外に宣言するため。

問4　7世紀の日本における政治的な変遷をたどると、645年に蘇我氏を打倒した「乙巳の変」をきっかけに大きな改革が始まりました。この改革の中心人物であり、後に近江大津宮で即位して天智天皇となった人物は誰ですか。（2022年 静岡県公立入試 類似）

1. 大海人皇子
2. 中大兄皇子
3. 中臣鎌足
4. 聖徳太子

問5　推古天皇の即位や冠位十二階の制定などが記された7世紀初頭の歴史年表において、この時期に並行して栄えた文化の記述として、その特徴と中心地の組み合わせが適切なものを選びなさい。（2017年 愛媛県公立入試 類似）

1. 貴族が日本の風土や生活に合わせた文化を生み出し、平安京を中心に栄えた。
2. 唐の文化の影響を強く受けた国際色豊かな文化であり、平城京を中心に栄えた。
3. 天武天皇や持統天皇の時期を中心とし、薬師寺の造営などに見られる文化である。
4. 日本最初の仏教文化であり、現在の奈良県にある飛鳥地方を中心に栄えた。

問6　「第一条に、和をなによりも大切なものとすること」「第二条に、仏・法・僧の三つの宝を敬うこと」「第三条に、天皇の命令を承ったときは必ず謹んで従うこと」といった内容が記されている資料の、歴史的な背景として最も適切なものはどれですか。（2023年 長崎県公立入試 類似）

1. 武士が政治の実権を握ったため、朝廷の権威を取り戻すための軍事的な規則を定めた。
2. 遣唐使によってもたらされた最新の法律制度をそのまま導入し、法治国家を目指した。
3. 豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権体制の基礎を築こうとした。
4. 仏教を国教として定め、寺院が政治に介入することを認める特権を与えた。

問7　大化の改新で示された「公地公民」の制度が、のちに崩れていく要因となった出来事について説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2021年 和歌山県公立入試 類似）

1. 聖徳太子が冠位十二階を定め、氏姓制度にとらわれず個人の能力によって役人を登用し始めたこと。
2. 明治新政府が土地の所有権を認め、地価の3%を現金で納めさせる「地租改正」を実施したこと。
3. 武士が各地の土地を支配し、年貢の徴収権を確保するために「武家諸法度」を定めて統制を強めたこと。
4. 人口の増加にともなう土地不足を解消するため、開墾した土地の永年私有を認める「墾田永年私財法」が出されたこと。

問8　「和を以（もっ）て貴（たうと）しとなす」や「篤（あつ）く三宝（仏・法・僧）を敬え」といった一節が含まれ、天皇の命令には必ず従うことなどを役人に説いた法令が制定された「目的」として最も適切な説明はどれですか。（2018年 三重県公立入試 類似）

1. キリスト教の布教を禁止し、貿易を制限することで幕府の権威を高めるため
2. 律令に基づいて全国の土地と人民を直接支配する公地公民制を確立するため
3. 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、天皇を中心とした政治の仕組みを整えるため
4. 武士に対して、領地をめぐる争いを解決するための公正な裁判の基準を示すため

問9　大化の改新の中心人物である中大兄皇子が、天智天皇として即位した後に行った、律令国家の形成に向けた取り組みの説明として最も適切なものを次から選びなさい。（2022年 徳島県公立入試 類似）

1. 仏教の力によって国を守るため、全国に国分寺・国分尼寺を建て、大仏を造立した。
2. 大規模な内乱である壬申の乱に勝利した後、強力な専制政治を行い飛鳥浄御原令を編纂した。
3. 冠位十二階や十七条の憲法を制定し、天皇中心の政治の仕組みを整えた。
4. 都を近江大津宮へと移し、日本で最初の全国的な戸籍とされる庚午年籍を作成した。

問10　推古天皇の摂政として冠位十二階や十七条の憲法を制定した人物が建てたと伝えられ、現存する世界最古の木造建築物として知られる飛鳥時代の寺院はどこですか。（2021年 宮崎県公立入試 類似）

1. 正倉院
2. 法隆寺
3. 延暦寺
4. 平等院鳳凰堂

問11　大化の改新が行われた際、中国の制度にならって日本で初めて導入され、現代の「令和」に至るまで日本の歴史の中で継続して使われている制度は何ですか。（2026年 愛媛県公立入試 類似）

1. 租・庸・調
2. 律令
3. 元号
4. 班田収授法

問12　7世紀後半、朝鮮半島で百済が滅亡し、その救援に向かった日本軍も白村江の戦いで敗北したあとの日本の状況について、正しい説明はどれか。（2019年 島根県公立入試 類似）

1. 唐や新羅の侵攻に備え、大宰府の北に水城を築くなどの防衛体制を整えた。
2. 高句麗と軍事同盟を結び、再び朝鮮半島へ出兵して新羅を攻撃した。
3. 渤海という国を建国し、唐を牽制するために新羅と友好関係を築いた。
4. 唐との国交を完全に断絶し、以後、一度も遣唐使を派遣しなかった。

問13　天武天皇が行った国家建設の取り組みにおいて、律令に基づいた政治を支えるために、全ての土地と人民を国家のものとする考え方を何といいますか。（2022年 福岡県公立入試 類似）

1. 地租改正
2. 公地公民
3. 版籍奉還
4. 墾田永年私財法

答え合わせ・解説

問1	答え 2 豪族が自らの経済力や政治的な権威を周囲に示すため、一族の氏寺として建立した。	飛鳥時代には、法隆寺や飛鳥寺に代表されるように、聖徳太子や蘇我氏などの有力な豪族が最新の文化である仏教を取り入れ、その勢力を誇示するために寺院を建立しました。これらは「豪族寺院（氏寺）」と呼ばれ、特定の氏族の繁栄を祈る性質が強いものでした。一方、選択肢にある「国家を守るために全国に建立された寺院」は、奈良時代の聖武天皇による国分寺・国分尼寺を指しており、建立の主体や目的が異なります。
問2	答え 3 中国を上位とする従来の形式ではなく、対等な立場での国交を樹立しようとするため	それまでの日本の外交は、中国の皇帝から称号を授かることで地位を認めてもらう「朝貢」の形式が一般的でした。しかし、聖徳太子は自らを「日出づるところの天子」と称し、隋の皇帝と対等の立場で交流しようと試みました。これには、日本の独立性を高めつつ、高度な技術や制度を吸収しようという目的がありました。
問3	答え 4 天皇が国の主権者として時間を支配することを示し、中央集権国家の威信を内外に宣言するため。	元号の制定は、単なる年数の数え方の変更ではなく、その土地を支配する君主が時間をも支配するという「空間と時間の主権」を象徴する行為でした。大化の改新において中大兄皇子らが日本初の元号「大化」を定めたのは、それまで力を持っていた蘇我氏などの有力豪族を抑え、天皇を中心とした律令国家を形成しようとする強い政治的意志の表れです。
問4	答え 2 中大兄皇子	蘇我入鹿を倒して権力を奪還した中大兄皇子は、中臣鎌足らとともに「大化の改新」と呼ばれる政治改革を推進しました。この改革は、豪族中心の政治から天皇を中心とする中央集権国家への転換を目指したもので、中大兄皇子はその後、正式に天智天皇として即位しました。
問5	答え 4 日本最初の仏教文化であり、現在の奈良県にある飛鳥地方を中心に栄えた。	飛鳥時代、特に推古天皇の時代には現在の奈良県明日香村周辺（飛鳥）に政治の拠点が置かれていました。渡来人の技術を取り入れた寺院建築や仏像制作が盛んに行われ、仏教を中心とした独自の文化が形成されました。選択肢にある平城京や天平文化、平安京や国風文化は、より後世の時代の特徴です。
問6	答え 3 豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権体制の基礎を築こうとした。	当時の日本は有力な豪族が勢力を争っており、政治の混乱が続いていました。聖徳太子は、役人が守るべき道徳や心得を示すことで、豪族たちの対立を抑え、天皇を中心としたまとまりのある国を作ろうと考えました。仏教や儒教の教えが取り入れられているのは、それらが普遍的な倫理観として、豪族を教化し国家を統合するのに適していたためです。
問7	答え 4 人口の増加にともなう土地不足を解消するため、開墾した土地の永年私有を認める「墾田永年私財法」が出されたこと。	公地公民の原則では、土地はすべて国家のものでしたが、人口の増加によって人々に与える「口分田」が不足しました。そこで政府は、743年に「墾田永年私財法」を制定し、新しく開墾した土地の私有を永代にわたって認めました。これにより貴族や寺社が大規模な私有地（荘園）を持つようになり、公地公民の原則は次第に崩れていきました。
問8	答え 3 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、天皇を中心とした政治の仕組みを整えるため	当時は豪族がそれぞれの領地や私民を支配していましたが、聖徳太子は彼らを国家の「役人」として位置づけようとしました。互いに争わずに協力すること（和）や、仏教を敬うこと、天皇の命令を遵守することを求めることで、豪族間の対立を抑え、天皇に権力を集中させる狙いがありました。なお、全国的な土地支配を定めた「公地公民」は、後の大化の改新以降の動きです。
問9	答え 4 都を近江大津宮へと移し、日本で最初の全国的な戸籍とされる庚午年籍を作成した。	中大兄皇子（天智天皇）は、白村江の戦いでの敗戦後、唐や新羅の侵攻に備えた国防の強化と並行して、国内の統治体制を整えました。近江大津宮への遷都や庚午年籍の作成は、中央集権的な律令国家を建設するための重要なステップとなりました。他の選択肢は、それぞれ聖徳太子（冠位十二階）、聖武天皇（大仏造立）、天武天皇（壬申の乱）の内容です。
問10	答え 2 法隆寺	聖徳太子によって建てられたと伝えられる法隆寺は、飛鳥文化を代表する寺院であり、現存する世界最古の木造建築物として知られています。正倉院は奈良時代の聖武天皇ゆかりの校倉造の建築であり、平等院鳳凰堂は平安時代に藤原頼通によって建てられました。また、延暦寺は最澄によって開かれた天台宗の寺院です。
問11	答え 3 元号	645年の改革に際し、日本で最初の元号として「大化」が定められました。これは、天皇が空間だけでなく「時間」も支配するという考え方に基づいたものです。以後、一部の中断を除いて現代まで元号の制度は引き継がれています。
問12	答え 1 唐や新羅の侵攻に備え、大宰府の北に水城を築くなどの防衛体制を整えた。	白村江の戦いでの敗北後、日本は唐・新羅連合軍の侵攻という国家存亡の危機に直面しました。そのため、中大兄皇子は九州の防衛を強化するために大宰府付近に水城や大野城を築き、防人を配備しました。また、内陸の大津宮への遷都や、戸籍の作成（庚午年籍）による徴兵体制の整備など、律令国家としての基盤形成が急がれる要因となりました。
問13	答え 2 公地公民	天武天皇から持統天皇の時代にかけて整備された律令国家の根本原則です。それまで豪族が私有していた土地や人民を国家の管理下に置き、戸籍に基づいて人々に田を与える「班田収授法」などを行うための基盤となりました。